# 水銀含有製品の分別収集にご協力ください

平成28年12月に施行された水銀汚染防止法において、市町村は水銀使用製品廃棄物を適正に収集するため、必要な措置を講ずるよう努めなければならないとされています。環境プラザでは燃えないごみとして収集した中から対象品目を手作業によりすべて取り出し、分別・処理しています。水銀含有製品の処理は専門事業者に委託して実施しますが5ｔの処理に約50万円の費用がかかります。

4月から燃えないごみと一緒にせず収集日を別にして収集を行います。分別収集にご協力をお願いします。

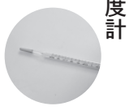
**家庭で不要となった**

**・水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計・蛍光管・乾電池**

**の分別収集を始めます**

## 分別の仕方

◇**水銀体温計、水銀温度計**
…購入時のケースや保管ケースに入れる。



◇**水銀血圧計**
…ポリ袋等に入れる。

◇**蛍光管**
…購入時のケースに入れる、新聞紙等で包装する。

◇**乾電池**
…ポリ袋等に入れる（ボタン電池は、他の電池等の金属製品が触れると、ショートし、発熱・破裂・発火する恐れがあるため、両面をセロハンテープで覆う等、電池の端子部分を絶縁してから袋に入れる。

※他のものと混入しない、破損しないよう別々にしてください。

※破損したものは、掃除に使った布等も含めてポリ袋等に入れ密封してください。

※絶対に燃えるごみには入れないでください。

※焼却施設の排ガスの水銀含有量も規制対象になっています。

問 環境プラザ ☎38・3910

## 収集日・ごみステーションでの収集（月1回）

◇**仁賀保・金浦地区**
…**4**月**24**日火 **5**月**15**日火

◇**象潟地区**
…**4**月**23**日月 **5**月**14**日月

※6月からは、仁賀保・金浦地区は第1火曜日、象潟地区は第1月曜日に古紙の収集に合わせて行いますので、燃えるごみと一緒にせず古紙の横に置いてください。収集のための容器等は置きませんので飛散しないようご注意ください。にかほ市指定のごみ袋は使わなくても大丈夫です。

※事業所等から発生する対象品は産業廃棄物に区分されるため収集できませんので、産業廃棄物処理業者に依頼してください。



# 破損した場合の対処方法

**水銀の飛散および流出を最小限に抑えることが必要です**

## 蛍光管

◇**掃除する前**

①人やペットを部屋から出す。

②エアコン等の運転を停止する。

③他の部屋や廊下に通じるドアを閉じる。

④窓や屋外に通じるドアを開け、5～10分間換気する。

⑤掃除に使う部材を用意する。

◇**掃除するとき**

**《固い床の場合》**

①硬い紙やボール紙でガラスの破片や粉をすくい取り、密閉できるガラス瓶やポリ袋に入れる。

②粘着テープを使用して残りの細かいガラスの破片や粉を集めて、同様に密閉できるガラス瓶やポリ袋に入れる。

③その場所を湿ったペーパータオルや使い捨ての湿った拭き取り布で拭き取り、同様に密閉できるガラス瓶やポリ袋に入れる。

④掃除機の使用は、水銀蒸気を拡散させる恐れがあるため望ましくないが、やむを得ず使用する場合は、目に見えるものすべてを取り除いた後に、ガラスが割れた場所に掃除機をかける。掃除機をかけ終わった後、掃除機の紙パックを外して（あるいは掃除機を空にして拭いて）、紙パックあるいは掃除機のごみおよび拭いた布等を密閉できるポリ袋に入れる。掃除機の使用時は換気を十分にし、なおかつ排気を吸い込まないようにする。

**《カーペットや敷物の場合》**

①硬い紙やボール紙でガラスの破片や粉をすくい取り、密閉できるガラス瓶やポリ袋に入れる。

②粘着テープを使用して残りの細かいガラスの破片や粉を集めて、同様に密閉できるガラス瓶やポリ袋に入れる。

③掃除機の使用は、水銀蒸気を拡散させる恐れがあるため望ましくないが、やむを得ず使用する場合は、目に見えるものすべてを取り除いた後に、ガラスが割れた場所に掃除機をかける。

④掃除機をかけ終わった後、掃除機の紙パックを外して（あるいは掃除機を空にして拭いて）、紙パックあるいは掃除機のごみおよび拭いた布等を密閉できるポリ袋に入れる。掃除機の使用時は換気を十分にし、なおかつ排気を吸い込まないようにする。

**《掃除した後》**

①ガラスの破片や粘着テープ等は密閉したまま直ちに建物外のごみ箱に入れる。その後、手を洗い、分別収集日にごみステーションへ出す。

②可能であれば、数時間の間、部屋の換気を続ける。

## 体温計・温度計

◆**禁止事項**

・水銀の除去のために掃除機を使用しない（水銀を拡散し、ばく露を拡大させてしまう）

・水銀の除去のためにほうきで掃かない（小さな塊に分割し、拡散させてしまう）

・水銀を排水口に流さない（配管内部、浄化槽や下水処理施設を汚染させてしまう）

・水銀に汚染されたスリッパ等で歩き回らない

・アクセサリーや時計などの金属を身につけて掃除しない（水銀が他の金属と反応して水銀合金を生成してしまう）

◇**掃除する前**

①人やペットを部屋から出す。

②すべての窓を開け、他の部屋や廊下に通じるドアを閉じる。

③ゴム製の手袋をはめる。

◇**掃除する時**

①ガラスの破片がある場合は、注意して拾い、ペーパータオルの上に置く。ペーパータオルごと丈夫なポリ袋に入れ、密封する。

②木材・タイルなどの滑らかな表面を持つ床の場合は、厚紙やプラスチックの板を使って、水銀の塊をゆっくりと寄せ集める。懐中電灯が床と平行になるように置いて照らし、輝く水銀の塊を探す。かなり遠くまで散らばるため、見逃しのないように気をつける。敷物やカーテン等の水銀を吸収する素材の上に水銀が広がっている場合は、敷物等ごと密閉できるポリ袋に入れる。

③スポイト等を使って、水銀を集め、湿ったペーパータオルや使い捨ての湿った拭き取り布の上にゆっくりと置く。ペーパータオルまたは布ごとポリ袋に入れる。

④水銀の大きな塊を除去した後、ガムテープなどで、床に残った水銀の粒を拾い上げる。ガムテープも同時にポリ袋に入れる。

◇**掃除した後**

①手を洗い、密封した袋のまま分別収集日にごみステーションへ出す。

②最低24時間、部屋の換気を続ける。

※他のものと混入しない。

※破損したものは、掃除に使った布等も含めてポリ袋等に入れ密封してください。

※絶対に燃えるごみには入れないでください。

※焼却施設の排ガスの水銀含有量も規制対象になっています。